

子どものためのバレエ

東京バレエ団

ドン・キホーテの夢

東京バレエ団とは？

正式名称は「チャイコフスキー記念東京バレエ団」。1964年創立以来、一貫して古典の全幕作品から現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを誇ります。創立3年目の1966年には早くも当時のソビエト政府に招かれ、モスクワ、レニングラードで公演を行い、この成功によりソビエト文化省より「チャイコフスキー記念」の名称を贈られた歴史あるバレエ団です。

これまでに32カ国155都市で公演を行い、「日本の生んだ世界のバレエ団」として国内外で高く評価されています。特にパリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場などヨーロッパの名だたる歌劇場に数多く出演し、各地で絶賛を博しました。近年では、地域に根ざした活動にも力を入れ、幅広い観客に親しまれるバレエ作品の上演、普及活動を行っています。

バレエの名作をアレンジして、小さなお子さまから楽しめる公演として大好評の東京バレエ団による「子どものためのバレエ」。今年の夏はご家族そろって華やかなバレエをお楽しみください！

あらすじ

スペインを舞台にくりひろげられる愛と冒険の物語！自分を騎士だと思いこんだドン・キホーテは、ある日宿屋の娘キトリを見てあこがれの姫ドゥルシネアだと信じこむ。一方、床屋のバジルと結婚したいキトリだけれど、父のロレンツォは大反対。キトリを街の貴族ガマーシュとなんとかくっつけようとするものの、ドン・キホーテが人々を巻き込んで大騒ぎ！二人の恋は実を結ぶのか？

さあ！うるわしの姫をさがして 愛と冒険の旅にでかけよう！

1 名作「ドン・キホーテ」を わかりやすい解説とお話つきで！

世界中のバレエ団がレパートリーとしている「ドン・キホーテ」。東京バレエ団ではウラジーミル・ワシーリエフ版をレパートリーとしています。今回は、ワシーリエフ自らが再演出し、子どもたちが初めて見ても楽しめるバレエとして見どころを凝縮しました。飽きないスピード感と、まるで物語の世界にいるかのようなファンタジーあふれる演出でお楽しみいただけます。



©Hidemichi Seto

2 滋賀県内の子どもたちが キュービッド役として出演！

数多くの有名な場面がありますが、そのひとつが「夢の場」。ドン・キホーテは、近くにあった風車を巨人だと思い込み興奮してよじ登りますが、羽に引っかかり地面に落下。そのまま気を失って夢を見ます。美しいドゥルシネア姫や森の女王が出てくる幻想的なシーンで、子どもたちがキュービッド役として登場します。



©Kiyonori Hasegawa



8月12日(土) 15:00開演【大ホール】

大人3,300円 子ども(4歳~中学生)2,200円

演出・振付:ウラジーミル・ワシーリエフ 音楽:レオン・ミンクス ほか

振付補佐:斎藤友佳理 出演:東京バレエ団

【キトリ】中島映理子 【バジル】生方隆之介

チケット発売中